

教育原理

平成 3 0 年度
前期 1 0 問

問 1

次の文は、「教育基本法」第3条の条文である。（ A ）～（ C ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

国民一人一人が、自己の（ A ）を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる（ B ）に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる（ C ）の実現が図られなければならない。

（組み合わせ）	A	B	C
1	人間性	機会	社会
2	人格	時期	社会
3	人格	機会	環境
4	人間性	時期	環境
5	人格	機会	社会

回答

5

解説

教育基本法第3条参照。

条文 [\[編集\]](#)

(生涯学習の理念)

第3条

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

解説 [\[編集\]](#)

本条は新設された条文であり、生涯にわたって学習する機会の拡充を図ることで[生涯学習社会](#)の実現していくことを規定している。

問 2 次のうち、「学校教育法」の条文の一部として誤ったものを一つ選びなさい。

1. 幼稚園に入園することのできる者は、満 3 歳から、小学校就学の始期に達するまでの幼児とする。
2. 幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする。
3. 幼稚園においては、第22 条に規定する目的を実現するための教育を行うほか、幼児期の教育に関する各般の問題につき、保護者及び地域住民その他の関係者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うなど、家庭及び地域における幼児期の教育の支援に努めるものとする。
4. すべて国民は、児童が心身ともに健やかに生まれ、且つ、育成されるよう努めなければならない。
5. 学校においては、別に法律で定めるところにより、幼児、児童、生徒及び学生並びに職員の健康の保持増進を図るため、健康診断を行い、その他その保健に必要な措置を講じなければならない。

回答

4

解説

- 1 正 学校教育法第26条参照
- 2 正 学校教育法第22条参照
- 3 正 学校教育法第24条参照
- 4 誤 旧児童福祉法第1条第1項参照
- 5 正 学校教育法第12条参照

旧児童福祉法第1条第1項

第一章 総則

第一条

- 1 すべて国民は、児童が心身ともに健やかに生まれ、且つ、育成されるよう努めなければならない。
- 2 すべて児童は、ひとしくその生活を保障され、愛護されなければならない。

問 3 次のA・Bそれぞれの著者として正しい組み合わせを一つ選びなさい。

A.人間は生後1歳になって、真の哺乳類が生まれた時に実現している発育状態に、やっとたどりつく。

そうだとすると、この人間がほかのほんとうの哺乳類なみに発達するには、われわれ人間の妊娠期間が現在よりもおよそ1カ年のばされて、約21ヵ月になるはずだろう。

B.どの教科でも、知的性格をそのままにたもって、発達のどの段階のどの子どもにも効果的に教えることができるという仮説からはじめることにしよう。これは、教育課程というものを考えるうえで、大胆で、しかも本質的な仮説である。

ア ヘルバルト (Herbart, J.F.)

イ ブルーナー (Bruner, J.S.)

ウ ポルトマン (Portmann, A.)

(組み合わせ)	A	B
1	ア	イ
2	ア	ウ
3	イ	ウ
4	ウ	ア
5	ウ	イ

回答

5

解説

- A ボルトマンについての記述である。
- B ブルーナーについての記述である。

ヘルバルト (Johann Friedrich Herbart, 1776-1841)

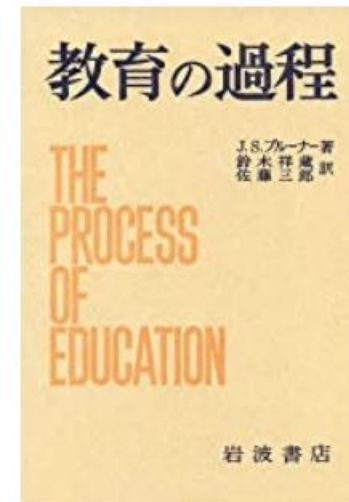
「教授のない教育などというものを認めないし、また逆に教育しないいかなる教授も認めない」

19世紀のドイツで教育学者として名を残したヘルバルトの著者『一般教育学』で述べた言葉で、教育界でも有名な一言

ブルーナー

教師が結論を与えるのではなく、子供が自分で発見し、その発見によって進められる学習の仕方をいいます。ある分野での基本的な構造をつかませ、観察、仮説の設定と検証をとおして、学習と研究の態度、推量と予測の力、自ら問題を発見して解決しようとする態度などを育てることを目的とします。

「どの教科でも、知的性格をそのままにたもって、発達
のどの段階のどの子どもにも効果的に教えることができる
という仮説からはじめることにしよう。」



ポルトマン

哺乳類は、生まれた時は未熟で自分の力で動きまわることのできない（ 就巢性 ）のものと、生まれた時からすでに成熟していて自力で移動することのできる（ 離巢性 ）の二つに分類することもできる。

ヒトの場合は、胎児期から音声に反応して母親の声を聞き分けるなど、感覚や知覚の能力を有するが、運動能力が未発達な状態で生まれてくることから、（ ポルトマン ）はこれを二次的（ 就巢性 ）と呼び、（ 生理的早産 ）という考え方で説明した。つまり、人間は脳の発達が著しいため、十分な成熟を待って出産することは体の大きさの問題から難しく、約（ 1年 ）早く未熟な状態で生まれるといわれている。

次の文の著者として正しいものを一つ選びなさい。

旧教育は、これを要約すれば、重力の中心が子どもたち以外にあるという一言につきる。重力の中心が、教師・教科書、その他どこであろうとよいが、とにかく子ども自身の直接の本能と活動以外のところにある。（中略）いまやわれわれの教育に到来しつつある変革は、重力の中心の移動である。それはコペルニクスによって天体の中心が地球から太陽に移されたときと同様の変革であり革命である。このたびは子どもが太陽となり、その周囲を教育の諸々のいとなみが回転する。子どもが中心であり、この中心のまわりに諸々のいとなみが組織される。

1. コメニウス (Comenius, J.A.)
2. ルソー (Rousseau, J.-J.)
3. デューイ (Dewey, J.)
4. キルパトリック (Kilpatrick, W.H.)
5. フレーベル (Frobel, F.W.)

回答

3

解説

デューイの著書「学校と社会」参照。

コメニウス

(連想してほしい最重要ワード)

- ①直観教授
 - ・「近代教育学の父」
- ②『大教授学』
 - ・『開かれた言語の扉』
- ③『世界図絵』
 - ・『遊戯学校』
 - ・没世学

①直観教授

「事物の観察や体験を通して、子どもが得た印象を重んじる教授方法」

②「あらゆる人にあらゆる事柄を教授する普遍的な技法を提示する大教授学」

③『世界図絵』 コメニウスが提唱、開発した、**世界初の絵入りの教科書**です。

ルソー

ジャン=ジャック・ルソーは、今から約250年前にフランスで活躍した思想家です。『社会契約論』や『エミール』など代表的な書物を出版し、後のフランス革命に大きく影響を与えた人物です。

デューイ

当時の教育は、生徒にとって「受身型」であるとし、「自発性」を引き出す方法を提唱したのです。その方法は「問題解決学習」と名付けられました。

デューイは「自発性」を重視。集めた知識を「使えるようにする」ことの必要性を感じていたからです。

キルパトリック

アメリカの教育学者で、ジョン・デューイの弟子で、同僚、かつコロンビア大学での後継者である

フレーベル

フレーベルの教育思想は、「子どもを神的な存在として捉えること」
「子どもを遊びを通して学べる環境づくり」に表れています。

幼稚園の語源「Kindergarten」の造語はフレーベルによるもの

問 5 次の【Ⅰ群】の記述と【Ⅱ群】の人物を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A.玉川学園の創始者。『全人教育論』を著し、労作教育を取り入れた。
- B.石門心学の創始者。『都鄙問答』を著し、町人への実践哲学を説いた。
- C.能役者、謡曲作家。『風姿花伝』において年齢段階の特質に応じた心や稽古のあり方を説いた。

【Ⅱ群】

- ア 小原國芳
- イ 羽仁もと子
- ウ 世阿弥
- エ 石田梅岩

(組み合わせ)	A	B	C
1	ア	ウ	エ
2	ア	エ	ウ
3	イ	ア	ウ
4	イ	ウ	ア
5	エ	ア	ウ

回答

2

解説

- A 小原國芳についての記述である。
- B 石田梅岩についての記述である。
- C 世阿弥についての記述である。

小原 國芳 おばら くによし

1929年、かねて提唱してきた全人教育の理念に基づき玉川学園を創立。

著書「全人教育論」「教育の根本問題としての宗教」「母のための教育学」「家庭教育」「理念の母」ほか、
「小原國芳全集」（48巻）「小原國芳選集」（6巻）

羽仁 もと子 はに もとこ

1921年（大正10）自由学園を創設した。この文部省令によらない教育施設において、
「真の自由人をつくりだすこと」を目的に、生活に立脚した「活(い)きた」教育の開発
と実践が試みられた。

世阿弥 (ぜあみ)

室町初期の能役者・能作者で、父である観阿弥(かんあみ)とともに能楽を大成した人物です。能楽とは日本芸能のひとつで、古くは猿楽と呼ばれていましたが、明治になって猿楽の名称が好まれなくなり、能楽と呼ばれるようになりました。

石田 梅岩 いしだ ばいがん

江戸時代に活躍した商人です。

石田梅岩は、都鄙問答（とひもんどう）という相談者とのやりとりを通して、仕事観や生き方を伝えました。そして、その教えは石門心学と呼ばれるようになりました。

E S D とは、「持続可能な開発のための教育」（Education for SustainableDevelopment）を表す。次の文は、E S Dに関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A.国際連合は、2005 年から2014 年までを「国連持続可能な開発のための教育の10 年（U N D E S D）」とし、ユネスコ主導のもとE S Dの重要性を提唱した。
- B.持続可能な社会では、一人一人が社会の一員として、人間・社会・環境・経済の共生をめざし、生産・消費や創造・活用のバランス感覚を持つことが求められる。
- C.持続可能な社会を構築するためには、生産活動と消費活動を優先することが重要であり、「生産消費型」社会の形成を目指している。

(組み合わせ)	A	B	C
1	○	○	○
2	○	○	×
3	○	×	○
4	×	○	×
5	×	×	○

回答

2

解説

- A 正 記述通りである。
- B 正 記述通りである。
- C 誤 生産消費型社会ではなく人間・社会・環境・経済が共生する社会である。

環境、経済、社会が統合的に向上した持続可能な地域づくり

環境的側面、経済的側面、社会的側面が複雑に関わっている現代において、健全で恵み豊かな環境を継承し、持続可能な社会を実現するためには、社会経済システムに環境配慮が織り込まれ、環境面から持続可能であると同時に、経済、社会面でも健全で持続的である必要があります。さらに、持続可能な社会を実現するには、社会経済システム全体に環境配慮を織り込むだけでなく、それぞれの地域における自然、経済、社会等の特性に合わせた、多様で持続可能な地域づくりが不可欠です。

問 7

次の文のうち、「絶対評価」についての記述として適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A.子ども同士を比較して、どちらが優れているかを評価する。
- B.集団に準拠した評価であり、集団の質によって結果が左右される。
- C.個々の学習者が、教育目標のどこまで到達したかを評価する。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	○	×	○
2	○	×	×
3	×	○	○
4	×	○	×
5	×	×	○

回答

5

解説

- A 誤 相対評価の記述である。
- B 誤 相対評価の記述である。
- C 正 記述通りである。

相対評価

個人の能力や成績を集団や組織のなかの他者と比べることによって、全体のなかでどのあたりの位置にいるのか、相対的に評価する手法です。

絶対評価

前もって設定しておいた数値やノルマをクリアしたかどうかや、あらかじめ設定した目標の達成度合いによって評価を下す手法です。目標を達成すれば高い評価がつきますが、達成できなければ低い評価となります。

問 8 次の文は、「児童虐待の防止等のための学校、教育委員会等の的確な対応について」（平成22 年 3 月）に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を× とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A.児童虐待の疑いがあるが、確証がない時には、まずは学校として確証を得た上で通告しなければならない。
- B.学校の教職員は、職務上、児童虐待を発見しやすい立場にあることを再確認し、学校生活のみならず、幼児児童生徒の日常生活について十分な観察、注意を払いながら教育活動をする中で児童虐待の早期発見に努める必要がある。
- C.健康診断においては、身体測定、内科検診や歯科検診を始めとする各種の検診や検査が行われることから、それらを通して身体的虐待及び保護者としての監護を著しく怠ること（いわゆるネグレクト）を早期に発見しやすい機会であることに留意すること。

（組み合わせ）	A	B	C
1	○	○	○
2	○	×	○
3	○	×	×
4	×	○	○
5	×	×	×

- A 誤 確証がないときも早期対応の観点から通告を行わなければならないという旨の記述がある。
- B 正 記述通りである。
- C 正 記述通りである。

児童虐待の防止等のための学校、教育委員会等の的確な対応について」（平成22 年3月）

児童虐待への早期対応（児童虐待防止法第6条第1項関係）

児童虐待に係る通告について、児童虐待を受けたと思われる幼児児童生徒を発見した場合は、速やかに、これを市町村、児童相談所等に通告しなければならない。このため、児童虐待の疑いがある場合には、確証がないときであっても、早期対応の観点から通告を行うこと。

次の文のうち、中央教育審議会答申「道徳に係る教育課程の改善等について」（平成26 年10 月）に述べられた内容として、不適切な記述を一つ選びなさい。

1. 道徳の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行うという道徳教育の基本的な考え方は、今後も引き継ぐべきであると考えられている。
2. 道徳の授業については、特に小学校高学年や中学校において課題の改善のため、児童生徒の発達の段階を踏まえ、内容や指導方法等を適切に見直すことが必要である。
3. 道徳の時間については、道徳教育の要となって人格全体に関わる道徳性の育成を目指すものであることから、各教科と同様に数値による評価を行うことが望ましい。
4. 様々な道徳的価値について、自分との関わりも含めて理解し、それに基づいて内省し、多角的に考え、判断することが必要と考えられている。
5. 学校における道徳教育は、学校のあらゆる教育活動を通じて行われるべきものである。

回答

3

解説

- A 正 記述通りである。
- B 正 記述通りである。
- C 誤 個人内評価などが望ましく、数値評価は行わないものとするとしている。
- D 正 記述通りである。
- E 正 記述通りである。

道徳の時間については、道徳教育の要となって人格全体に関わる道徳性の育成を目指すものであることから、各教科と同様に数値による評価を行うことが望ましい。



個人内評価

純粹の本人の内でのみ成績を考えるという評価の手法

次の文は、中央教育審議会答申「子どもの体力向上のための総合的な方策について」（平成14年9月）の一部である。（ A ）・（ B ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選ばない。

できるだけ児童生徒が体を動かす時間を多く確保できるよう、始業前や休み時間を活用して全校で体を動かす時間を設定するなどの工夫が求められる。その際、児童生徒がより運動することを楽しみ、体力の向上に積極的に取り組むことができるようにすることが重要である。

このため、特に幼稚園や小学校の教員については、子どもの発達段階に応じて、（ A ）を促したり、体を動かす楽しさや喜びを体験させる指導ができるよう、実技研修などを充実することが求められる。（中略）さらに、小学校では、地域や学校の実情に応じて（ B ）の配置に積極的に取り組むことが期待される。中学校の保健体育の教員が小学校の体育を指導するなど異なる校種間の連携協力も効果的である。また、地域のスポーツ指導者を特別非常勤講師としてより一層活用することも求められる。

（組み合わせ）	A	B
1	外遊び	固定遊具
2	外遊び	体育専科教員
3	外遊び	運動施設
4	やる気	固定遊具
5	やる気	体育専科教員

「子どもの体力向上のための総合的な方策について」の4の1を参照。

「子どもの体力向上のための総合的な方策について」

4 学校の取組の充実－創意工夫をこらした体力つくりと地域社会との連携－

1)学校の取組の充実

できるだけ児童生徒が体を動かす時間を多く確保できるよう、始業前や休み時間を活用して全校で体を動かす時間を設定するなどの工夫が求められる。

その際、児童生徒がより運動することを楽しみ、体力の向上に積極的に取り組むことができるようにすることが重要である。

このため、特に幼稚園や小学校の教員については、**子どもの発達段階に応じて、外遊びを促したり**、体を動かす楽しさや喜びを体験させる指導ができるよう、実技研修などを充実することが求められる。

小学校では、地域や学校の実情に応じて**体育専科教員の配置に積極的に取り組む**ことが期待される。

中学校の保健体育の教員が小学校の体育を指導するなど異なる校種間の連携協力も効果的である。

また、地域のスポーツ指導者を特別非常勤講師としてより一層活用することも求められる。